

月報 岡崎の教育



3月号

平成5年3月1日

発行／編集

岡崎市教育委員会

思いを込めて筆を持つ時
心も一緒に伸びていく
自分を映して光つてる

ほほえんでいる字
どつしりとふんばつていてる字
ひつそりとつましい字
のびやかで明るい字
どの字も

姿や形は鏡に映るけど
心は何に映るのだろう
一筆ごとに書いた文字を
頭を左右に見つめる眼が
自分の心をさぐつてる

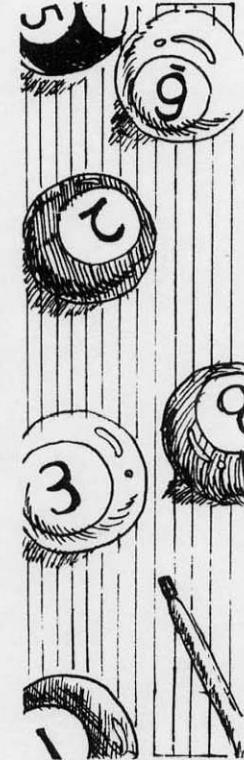
しんと静まり返った教室に
青々とした墨の香り
真つ白な紙に
一点、筆をおく
穂先に命が生まれ
自分さがしの旅が始まる



(水ぬるむ－岡崎小)

一想隨教育

伝えることの難しさ



岡崎美術協会相談役・日本画家 畑柳 赫

市の関係や、新聞社の文化センターで多くの講座が開かれている。修了も卒業もないのが絵画教室で、その中の日本画教室を受け持つているが、どの人も難しいと言う。

技法なのか、技術なのか、描く事か。

写生から始まつて、作品制作と運ぶのだが。写生の着色は顔彩で、材料屋が顔料と二カワ液で練つて容器に入れて乾かしてあるので、水で溶いて塗ればよい。

しかし、作品制作となると幾種類もある材料の性質と、群青、緑青、朱、金泥、胡粉などの絵具のあらさ、細かさとでは二カワ液の量と練り方が違う。

現在博物館で見る事の出来る、桃山時代の狩野永徳、江戸前期の狩野三葉の巨樹、花鳥画、牡丹の図。市内の大樹寺の「鉄仙」の図等、それぞれの絵具の冴え

は素晴らしいと思う。性質のちがう材料をうまく組み合わせ、使いこなしているからだ。

「泥とは細かい」という事。油絵具の泥物と違つて日本画の絵具は小砂利程の粗い物から泥絵具まで、番号がつけられて、一番から十五番、流一番、二番、極細かの物を水平といふ。これは製造する時に色の礦石をまんべんなく碎いて、水でよくかきまわして流し、手元に近いところから一番「小砂利くらい」、二番と番号をつけ、番号が多くなる程細くなる。多く使われる白色は鉱物でなく、貝を焼いて精選した物で胡粉という。昔のある美人画家は来客の話しあ手をする間、いつも乳鉢でつぶして胡粉を細かくしていたと聞く。今では材料屋で極細の胡粉が厚塗りしてある場合は、特に気をつけないと危ない。絹は湿度によって伸びたり縮んだりするので、胡粉がはがれやすく、扱い方によほど心配りがほしい。

日本画の制作に入る時、私がそれぞれの絵具に二カワ液を入れて実技を見せる。今度はその人に絵具の量と二カワ液で練り合わせをしてもらう。一番やつかいと言われる胡粉に二カワ液を入れ、練りに練つて団子にしてまた練り、つやが出るまで練る。私が見ていて口添えしていると上手に出来ている。後日それぞれの人がやっているところを見ると、両手いっぱい胡粉だらけで顔にまでついている人もいる。まるでパン粉をかき回しているようだ。かき混ぜるのではなく、練るのだと、何回言つても「出来ない」「やれない」と言う。私は「やらない」のだと言う。「すべての学校から麻薬を追放してくれ」と訴えたという。

アメリカでは、政府が委員会を設け、教育改革を唱えて十年になる。ブッシュ大統領は、三年前の年頭の挨拶で「二〇〇一年にはアメリカの子供の学力を世界ににする」と言つた。

次の年には「すべてのハイスクールから性病を追放せよ」と呼びかけ、昨年は「すべての学校から麻薬を追放してくれ」と訴えた。

ブルーマー女性市長一行の来校 平成二年四月六日、ニューポートビーチ市の市長以下十一名が来校された。全校音楽などで歓迎した後の市長との会話が印象的だった。

「どうして子供たちは一時間も静かにしておれるのか。」

「選ばれた子供たちか。」

「こここの学校は、校長がいい声の先生ばかり集めたのか。」

梅園小学校長 鈴木聰一

この胡粉に接着用の二カワ液を入れて練りに練つて団子にして、つやが出るまで練る。これが大変のようだ。

古画で白い花や、人物の顔などが「剥落」しているのをよく見る。表装した掛け軸は床の間にかける時、しまう時に巻いたりもどしたりするので、画布が絹で胡粉が厚塗りしてある場合は、特に気をつけないと危ない。絹は湿度によって伸びたり縮んだりするので、胡粉がはがれやすく、扱い方によほど心配りがほしい。



「梅園小国際」あれこれ

梅園小学校長

鈴木聰一

アメリカでは、政府が委員会を設け、教育改革を唱えて十年になる。

ブッシュ大統領は、三年前の年頭の挨拶で「二〇〇一年にはアメリカの子供の学力を世界にする」と言つた。

次年には「すべてのハイスクールから性病を追放せよ」と呼びかけ、昨年は「すべての学校から麻薬を追放してくれ」と訴えた。

ブルーマー女性市長一行の来校 平成二年四月六日、ニューポートビーチ市の市長以下十一名が来校された。

全校音楽などで歓迎した後の市長との会話が印象的だった。

「どうして子供たちは一時間も静かにしておれるのか。」

「選ばれた子供たちか。」

「こここの学校は、校長がいい声の先生ばかり集めたのか。」

作品交換など親善を図りたいからニューポート市の学校を紹介してもらいたい



▲先輩が品種改良した稲が実り、学区の方の御指導で稲刈り（矢作中）



▲富田默氏の講演（本宿小）



▲校訓碑「正しく 強く 美しく」（本宿小）



▲30年後の楽しみ、タイムカプセル（本宿小）

平成四年度には三校で、一年を通して創立記念のいろいろな事業が行われた。

百二十周年を迎えた本宿小学校は、「変わり行く本宿をだいじにする」研究の成果を発表し、富田默氏の講演会を開いた。三十年後開封予定のタイムカプセルは、子供たちの夢を託した作文など、記念の品が入れられた。

百周年の矢作中学校では、本多博士の胸像を玄関前に建立し、東北大字の西澤潤一総長出席のもと除幕式が行われた。生徒たちがもみまきから稻刈りまで、貴重な体験学習をして作り上げた紅白餅を出席者全員に配り、学区の方への感謝の意を表した。

上地小学校は保護者の約四割が、他県出身者で占める若い学区である。ふれあいを基本に、新しい牧場や「ふる里上地像」が作られた。夏休みには、学校の運動場を開放した親子夏祭りに三千人の参加があった。

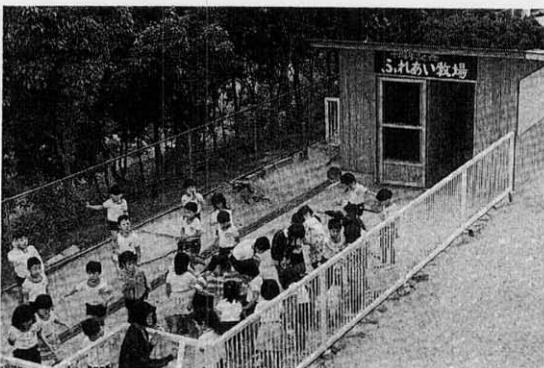
いずれの学校も学区と強く結びつき、全面的な協力があつて、成功した事業であつた。



▲学習に役立つ郷土資料室（矢作中）



▲玄関前の本多光太郎先生像（矢作中）



▲いつもにぎやかなふれあい牧場（上地小）



▲やさしく見守る「ふる里上地」像（上地小）



▲親子参加の学区夏祭り（上地小）

記念事業のあらまし

本宿小学校

- 校訓碑建立
- タイムカプセル埋設
- 120周年記念誌刊行
- 郷土読本『本宿』新版刊行
- 富田勲氏記念講演
「音楽とテクノロジー」

矢作中学校

- 本多光太郎先生胸像建立
- 西澤潤一氏記念講演
「われらの先輩 本多先生」
- 郷土資料室設置
- 100周年記念誌刊行
- 鍛錬遠足「矢作川の源流を訪ねて」外

上地小学校

- 「ふる里上地」像建立
- 観劇「花のき村と盗人たち」
- 郷土読本『うえじ』刊行
- ふれあい牧場改築
- 10周年記念誌刊行



▲授業で利用する郷土読本（本宿小・上地小）

平成4年度教育研究論文入選者

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教・領	研究主題
森下恒夫	広幡	生活	子供が主役になれる生活科の授業の創造
畔柳とも子	城北	美術	豊かな創造力ある生徒を育てる

優秀賞

氏名	学校名	教・領	研究主題
神尾美佐代	岡崎	国語	個を大切にし、学ぶ意欲を育てる授業をめざして
野勢裕子	三島	◆	毎日の暮らしに感動を
鈴木理栄子	大樹寺	◆	楽しく正しく読み取る説明文の授業
伊藤明美	小豆坂	◆	書くことを生かして自分なりの力で読み取る社会科の授業
浅井英之	梅園	社会	人物の生きざまを見つめ、歴史に対する見方を深める社会科の授業
石原真吾	◆	◆	人の生き方に触れ、自分の考えを構築する教材構成のあり方
石川洋実	広幡	◆	子供が最後まで意欲的に取り組む授業
増澤徹	小豆坂	◆	主体的に追究して考えを深める社会科の授業
内藤勇策	北野	◆	動進帳に出会う子供たち
安藤太平	梅園	算数	ゲームを使い一人ひとりの考えを伸ばす算数指導
杉江美舟	広幡	◆	自ら求め、自ら学ぶ力の育成
平任代	岩津	◆	児童一人ひとりの自己実現をめざした教育
酒井久男	竜美丘	理科	素朴な疑問や小さな発見を生かした天体学習
天野道晴	井田	◆	一人一人の個性を伸ばす理科学習
坂元千城	藤川	◆	体験を元に事実や考えを表現できる子の育成
鳴藤真由美	広幡	生物	子ども自らが切り拓く生活科の授業
内田ひろみ	◆	◆	自然とのかかわりの中で遊びを作り出す子どもの育成
清水咲千子	本宿	◆	仲間と学び仲間と遊ぶ生活科
香村敏之	岡崎	国工	「つくる」ことの原点を実感できる授業
小田昌男	美合	体育	すべての子どもたちが、その運動の特性にふれた楽しさを味わう体育学習
永田勲	黒川	◆	自ら課題を求めて意欲的に活動できる児童
中野渡善樹	小豆坂	◆	自ら運動に親しめる子の育成
鈴木晴江	羽根	道徳	自ら見つめ自ら問いかける道徳の授業をめざして
鈴木詞雄	根石	特活	思いやりの心にふれ感動を分から合う読書
岡田幸夫	梅園	特殊	生き生きと生活できる子の育成
宮地久美子	美合	◆	ものごとに取り組む態度を育てる
丹羽真由美	連尺	図書館	豊かな心を育てる読書指導
浅井君枝	◆	保健	赤ちゃんの生まれるまでをしよう
野々山こず江	井田	教全	生活を見つめ積極的に身近な環境に働きかける子の育成
倉橋正博	六美北	国語	言葉の美しさ、大きさを感じさせる古典学習指導の工夫
山田一夫	甲山	社会	自己教育力を高める社会科の授業
高須亮平	六美北	数学	数学のよきを感じさせる授業
片岡正樹	城北	理科	学習意欲を高める評価の実践をめざして
荻須文裕	竜南	◆	個性を重視した理科学習
鈴木武	北	◆	問題解決能力を高める理科学習
細井鶴貴	常磐	音楽	感性を育て、豊かに歌える子どもをめざして
山本秀樹	岩津	美術	豊かな情操を持ち、意欲的に創造活動に取り組む生徒の育成
吉口潔	竜海	技術	生徒自ら追究する学習
三浦みどり	葵	家庭	良い住まい方を追究する生徒の育成
田中宏幸	竜海	特活	使命感を持ち、自主的に活動する生徒の育成
篠島篤司	岩津	◆	自らの発想を生かし、意欲的に取り組む生徒の育成
神谷明良	竜南	◆	あなたはエイズの本当を知っていますか?
太田一弘	六美北	◆	望ましい人間関係を育てる学級づくり
安藤仁史	城北	特殊	自ら考え行動する生徒を育てる「徳川家康」

●共同研究の部

最優秀賞

部会名	学校名	教・領	研究主題
1年部会	六名	道徳	低学年における道徳的実践力を高める試み
現職教育部	岩津	教全	心のふれあいを深め意欲的に取り組む生徒の育成

優秀賞

部会名	学校名	教・領	研究主題
4年国語部会	矢作北	国語	見つめる目を育てる作文指導
書写部	上地	書写	操作活動を重視した楽しい書写の授業
健康教育研究部	山中	教全	そだて、はげめ、のびよ 山中っ子
社会科部	甲山	社会	自己教育力を高める社会科の授業
理科部	竜海	理科	自ら追究する生徒の育成
体育部	城北	保健	意欲的に運動する生徒を育てる

〈論文応募者数〉

	個人	共同	合計
小学校	306	35	341
中学校	164	30	194
合計	470	65	535

佳作

氏名	学校名	氏名	学校名
山本伸	緑丘	名倉美千子	六美北
神尾まゆみ	連尺	清水良隆	矢作西
阿部浩	竜谷	飯尾征彦	六美中
清水政秀	山中	鈴木淳二	細川
加藤有悟	◆	瀧美久美子	根石
中村葉子	大樹寺	太田悦子	連尺
田中鉄也	上地	瀬戸麻代	男川
岩附広行	井田	田中俊男	羽根
小川真奈美	本宿	山中一己	矢作東
太田田佳子	細川	神谷照美	緑丘
市川恵子	◆	遠山洋子	上地
松井洋子	◆	石川守彦	三島
園島有子	六美北	佐々木八津子	城南
横山聰夫	城南	高橋鏡二	矢作
石原昌仁	羽根	菅沼健	六ツ美
田村康則	竜美丘	山田禮子	北
深津伸夫	上地	杉田吉男	甲山
永井利昌	北野	麻場公祐	竜海
伊藤悦子	緑丘	田中俊二	矢作北
安藤直哉	連尺	本多成光	六美北
村上徹	藤川	都筑祐一	美川
杉田ひろ子	大樹寺	小川規博	竜海
二村久	矢作北	加藤嘉一	岩津
渡部一夫	矢作南	蜂須賀涉	北
近藤絹代	根石	寺坂信久	竜海
大内真由美	岡崎	杉坂美典	葵
本多敦江	竜美丘	山口直純	城北
鈴木悦子	藤川	小島英樹	竜南
伊藤さく	本宿	安立賢介	矢作北
永田操	矢作東	天野一良	北
角谷真奈美	矢作南	山田ゆかり	甲山
鶴田秀幸	上地	太田幹雄	六ツ美
佐渡英彰	小豆坂	河合安男	竜海
中川順子	梅園	渡辺幸枝	城北
藤井博子	常磐南	白井直美	葵
高木理人	井田	鈴木智幸	城北
菅沼和子	矢作東	石川敏幸	福岡
清水祥明	矢作南	安藤久美子	六ツ美
岩月茂仁	男川	神尾美季	南
森川倫樹	三島	鈴木章文	矢作北
櫻木哲朗	◆	田島広嗣	美川
大久保厚子	広幡	大柿峰樹	竜南
長谷川司吉	大樹寺	尾崎貴美子	常磐
伊藤和代	広幡	山本照司	竜海

佳作

部会名	学校名	部会名	学校名
4年部会	六美北	第1学年部会	連尺
5年生部会	岩津	保健部会	大樹寺
2年部会	六美北	数学部会	城北
1年部会	六美南	体育部会	竜海
現職教育部	梅園	英語部会	城北
図書館部	根石	現職教育部	甲山



ての「学習指導」をテーマとして研究に取り組んできた。昨年度は東海北陸へき地研究大会の会場校として、来年度は西三河教育事務協議会の指定校として研究発表会を開催する。

授業中、問題に取り組み、考えたり、発表したり、困ったりしている顔は、とても美しいものである。マラソンや剣道、ソフトボールの練習などで汗まみれになっている顔は、とてもたくましく見えるものである。

子供の顔

下山小 本田 浩登

下山小学校は、三河高原の西端に位置し、岡崎市と境を接するへき地小規模校である。中学校へ進むと全員の子供が寮生活を余儀なくされている。

卒業を目前に控えた六年生が運動場でバスケットボールに興じている。その一人ひとりの顔がとてもたくましく見える。この子供らしい美しさはどこから生まれてくるのだろう。

この美しさは、何かに熱中し、真剣に取り組んでいる姿であり、心の表れから生まれてくるものではないだろうか。

本校では、「学び取る力を育

長していく姿を期待している。

運動場でバスケットボールに興じている子供たちが二十歳になると、歴史は二十一世紀。

この子たちが、中心となつて活動する日も遠いことではない。

そんなとき、私たちが取り組んでいる研究が少しでもよいから役立ってくれることを願つてい

る。
(へき地派遣教員)

何かを求める、そのため前向きに進んで行こうとする心が、人間をより美しくしたり、たくましくするものだと思う。

吉川英治が、「宮本武蔵」の執筆にあたって、「今日、人々の心中で最もっとも欠けているのは、信ずるということです。つまり、自分を信じ、自分の仕事を信じ、自分の生活を信じていくような信念が弱いと思うのです。もつと希望と力を持つて歩いていく人間としての武蔵を描いていきたいのです」と書いていている。

子供たちは、何にでも挑戦していくことをするエネルギーを蓄えている。全校九十人の下山つ子が、吉川英治が描いている武蔵のように、毎日を失敗を恐れずにがんばり、たくましく成

A子は「漂流記」の中のドニファン役を立候補していた。

私の構想の中では、A子には違う役をやらせたかった。

しかし、A子の熱意に動かさ

れ、私は配役発表時にA子の名を呼んだ。A子は満面笑みを浮かべていた。それからのA子の頑張りは、想像以上だった。誰よりも先に多くのせりふを覚え、

練習の時は目を輝かせて役柄に取り組んだ。望んだ役を与えることが、一人の人間にこれほどまでに活力を与えることをあらためて知られた思いがした。

私は、赴任した学校で必ず一度は劇「漂流記」に挑戦してい

る。それは、劇「漂流記」の主題が、勇気・希望・友情・協力、思いやりであり、学級づくりの面でも大切にしたい事柄だからである。

練習に入る前に、この「漂流記」がどんな内容で何を訴えているのかをみんなで話し合った。主題が出された後、まとめとして次のように私は言つた。

「そうだね。この劇の中には、人として大切にしたいことがたくさん詰まっているね。みんなに見てもらう時に、この劇の内容通りの学級なんだねと見てもらいたいね」



子供の成長と

ともにある学芸会云々

六名小 渡辺 修

お正月に、A子から年賀状が届いた。

明けましておめでとうございます。先生、ドニファン役を私にやらせて下さい。

お願いです。



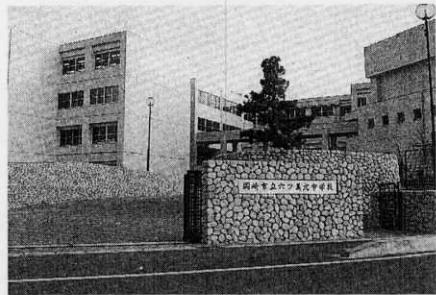
この話し合いから、学芸会が単なる一つの行事としてこなすものから、自分たちの生活とともにあるものに変わっていくのである。

劇の練習の時、B子を泣かしてしまったぐらいに叱つてしまつた時があつた。次の日が下見の会ということで、私自身焦りが

懸命慰めていた。自分の失敗から出たことは言え、うれしかった。子供たちは、劇の主題どおりに行動していた。それに比べて私は……。

この子らの成長とともにある学芸会であることを、もう一度自分に言い聞かせた。

この話は「漂流記」の中のドニファン役を立候補していた。私の構想の中では、A子には違う役をやらせたかった。



▲六ツ美中学校から分離、市内十八番目の中学校として誕生

一年の あゆみ

10 . 1	9 . 23	9 . 18	9 . 12	8 . 3	7 . 28	7 . 26	7 . 21	7 . 10	6 . 8	5 . 31	5 . 31	5 . 10	5 . 8	4 . 2	4 . 23	4 . 1
●新規採用教員85名辞令伝達式																
・岡崎市立六ツ美北中学校開校																
・新学習指導要領の完全実施（小学校）																
・現職教育委員会総会（梅園小）																
・臨時学校休業日																
・第3回松下視聴覚教育研究賞 文部大臣賞 連尺小学校																
・平成3年度全日本学校関係緑化コンクール																
・学校環境緑化の部 文部大臣賞 矢作西小学校																
・第36回岡崎市中学校総合体育大会開始																
・学校保健会総会（医師会館）																
・中学生フットボール市訪問（～15）																
・第6回岡崎市中学生の主張コンクール																
・ニューポートビーチ市中学生一行来岡																
・第45回岡崎市中学校市長杯大会開始																
・岡崎市小学校球技大会開始																
・第19回岡崎市民大学講座開講（市民会館）																
谷沢 永一氏（7・26） 江口 吾朗氏（8・1）																
森本 哲郎氏（8・8） 澤地 久枝氏（8・22）																
中川 志郎氏（8・29） 草柳 大藏氏（9・19）																
・第30回岡崎市小学校水泳大会																
・夏季実技講習開始（～4）																
・愛知県吹奏楽コンクール																
金賞 竜美丘小学校・六ツ美北部小学校・葵中学校																
・学校休業日（学校週五日制導入の一段階として、今月以降第二土曜日休日）																
・第42次教育研究岡崎集会（細川小・新香山中）																
・岡崎市教育委員長に築瀬正邦氏就任																
・岡崎市教育委員長に杉山光氏就任																
・岡崎市教育研究会																
・吹奏樂祭（市民会館）																
・岡崎市教育委員長に築瀬正邦氏就任																
・岡崎市教育委員長に杉山光氏就任																
優秀賞 南中学校・葵中学校																



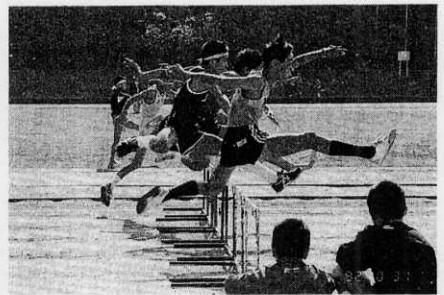
▶開始一時間以上前から席が埋まるほど人気が高くなっています

た岡崎市民大学

▶小学校では本年度より新学習指導要領が完全実施

生活科の授業風景（広幡小）
三十七校、総勢三六五九名が伝馬通りを約二時間かけ、すばらしい演奏を披露

の中学生親善使節訪問団
五回目を迎えたフット市へ



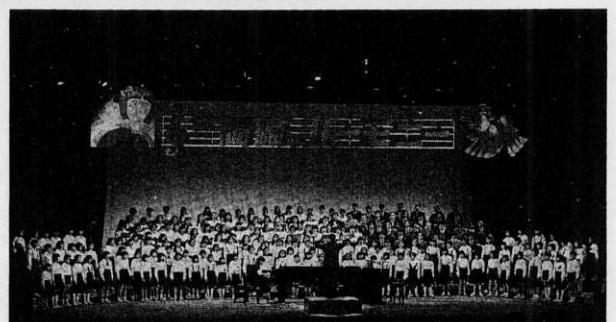
▶本年度初の試みとして、土曜日に開催された小学校陸上競技大会

◆今年から中央総合公園武道場で、合同開催された理科作品展と技術・家庭科作品展

- 第39回理科作品展（～11）（中央総合公

◆岡崎の教育文化振興への貢献
をたたえる教育文化賞は二氏

三団体が受賞



◆強豪がひしめく中、堂々の優勝を果たした矢作北中女子駅伝部

►二十回目を迎える、今年は「すき
です ハーモニー」をテーマに
盛大に開催

▶昭和二十二年の開校以来、伊賀川の清掃奉仕活動を続けて
いる葵中生徒会に教育文化賞

平成4年度の研究発表校

発表日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料(研究物・講師・助言者)
6月2日	本宿小	教科指導	みづめ、しらべ、ひらく —郷土学習からの 広がりを求めて—	郷土教材を学習に取り入れることにより、子供の自主・自立的な学習意欲を育てることを追究した。生活圏の広がりや調べる活動を通して、学習活動の発展・拡充と国際化に生きる子供の視野の広がりの育成に努めた。	研究物 研究紀要・学習指導案綴 年間指導計画綴・郷土読本 助言者 愛知教育大学名誉教授 松井 貞雄先生 講師 サウンドパフォーマー 富田 真氏
6月16日	城北中	教科指導	自ら考え行動する生徒を 育てる —教科指導の 実践を通して—	・論理的思考の重視・課題解決的な展開の重視・課題意識化の重視・活動の重視の4つを研究の視点とし、生徒が主体であると考えて、毎月の授業実践を通して、研究主題を追究した。	研究物 研究紀要・学習指導案綴 助言者 野々山宏司 山内博史 本多有三 菅沼 刚 酒井正子 長坂正延 河村喜美 石原雅文 山本 晃 野村正文 の各先生
6月30日	北中	生活指導	自らを律し、心豊かに生 きる児童生徒の育成 —学校・家庭・地域社会 の連携を基盤とした健全 な児童生徒の育成—	・北部地区小中9校が歩調を合わせ、組織づくりや情報交換など地域ぐるみの指導を推進 ・個に応じた、心に訴える平時の指導を通して、集団や社会の一員として自らを律し、主体的な行動のとれる生徒の育成をめざした。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 講師 県教育委員会義務教育課主査 近藤 博司先生 西三河教育事務所指導主事 長谷川重男先生
10月2日	藤川小	理科 生活科	自ら学ぶ子 体験をもとに事実や考え を表現できる子の育成 —理科・生活科を 中心として—	子供の心の動きを引き出すような事実や事物・現象との出会いをさせることが活動を活性化させる原動力になると考えた。豊かな体験をさせることができ表現力を高め自ら学ぶ子の育成につながると考え、実践研究した。	研究物 研究紀要・学習指導案綴 自然教材ガイドブック 講師 愛知教育大学教授 川上 昭吾先生
10月13日	美合小	国語(作文)	確かな文章表現力を育て る —豊かな心の育成と 見つめる目の開発—	作文指導を軸として、読書指導にも力を入れ、全人の人間の育成をめざした。大単元作文・中単元作文・作文読書タイムの3つの指導仮説を基に、日々の授業・研究授業等の実践を通して、研究主題の追究をした。	研究物 研究紀要・作文指導年間計画案・学習指導案・学校文集 講師 蒲郡・竹島小長 吉見宏先生 助言者 附属岡崎中 和田守功先生 附属岡崎小 大山祐吉先生
10月20日	六名小	道徳	自ら学び実践する子の育 成 —基本的な道徳性の 確立を目指して—	人間としてよりよく生きるための基礎・基本となる道徳性の確立と、自律的に道徳的実践のできる子の育成を目指し、道徳の時間と全教育活動での実践の充実を心掛け、課題を追求した。	研究物 研究紀要・道徳年間指導計画 指導案綴・指導資料集・実践記録「かけはし」 助言と指導 岡崎女子短大 内田松夫先生
10月27日	井田小	教育全般	たくましい体と豊かな心 を育てる —創造力・実践力を高める 視聴覚メディアの活用—	次代を創造性豊かにたくましく生きぬく力の育成をめざし、理科・体育・総合学習の三分野で、学ぶ楽しさと共に伸びる喜びを味わわせる「感動ある授業」の展開に努めた。視聴覚メディアを活用し、学習の深まりを図った。	研究物 研究紀要・学習指導案綴 井田っ子ジョイフル遊び集 講師 岡崎女子短大 内田松夫先生
11月17日	連尺小	学校図書館	自ら学ぶ心豊かな子どもの育成 —魅力ある学校図書館の 活用を通して—	学校図書館の整備・充実を基盤として、生涯学習の基礎となる読書能力や読書態度の向上に意を注ぐとともに、図書及び資料を教科学習の中に積極的に取り入れて、自学の方法を身につけさせるよう実践を重ねた。	研究物 研究紀要、学習指導案綴、図書館ノート・利用指導の手引き、読書・活用年間計画 講師 指導者 児童文学作家 鈴木喜代春氏 鈴木秋男先生 内田松夫先生
11月24日	東海中	部活動	健康で豊かな人間性を育む部活動のあり方 —生涯スポーツ・文化活動をめざして— (中間発表)	「部活動をすることによって、生きがいを見いだして自立できる人間を育てる」ことを目標にした。①個の自立、②健康安全、③地域とのかかわりの3つの仮説を設定し、研究主題を追求した。	研究物 研究紀要・学習指導案・部活動年間指導計画 助言者 愛知教育大学 永田靖章先生 愛知県教育委員会 平岩尚文先生
11月27日	秦梨小	生・社・特	「気づき・考え・仲良く活動する」秦梨っ子をめざして —生活科・社会科・特別活動を通して—	青少年赤十字の行動目標を基盤に、児童一人ひとりの人としての生き方、在り方を考えさせる中で、気づく場面・考える場面・実行する場面を構成し、人間らしい心を持つ子を育てる研究を基本姿勢として主題に迫った。	研究物 研究紀要・学習指導案綴 仲良しハンドブック(低・高) 『えいようくん』給食資料 講師 文教大学教育学部教授 高橋 哲夫先生
2月12日	根石小	読書指導	読書指導 —本好きな子を 求めつづけて—	心に残る本を子供に出会わせたい 本に読み浸る時間を子供と一緒に持ちたい という願いから出発した本校の読書指導も15年。週4回、20分間の「読書の時間」に読み聞かせを中心に継続してきた内容を実践的に研究。	研究物 研究紀要・授業案綴・ブックトーク集『集めてみましたこんな本』・年間指導計画 講師 国立国語研究所 甲斐 瞳朗先生

同校がこれまで取り組んできた体育学習の研究が認められ、去る十一月十五日に静岡市で開催された全国学校体育研究大会において表彰を受けた。



◆小豆坂小学校に

◆交通安全第四十四回岡崎市民

◆平成五年度岡教組役員

同校がこれまで取り組んできた実績をあげた児童・生徒を顕彰する第三回学校文化賞授賞式が太陽の城で行われた。

本年より、スタート・ゴール地点が六名公園から岡崎中央総合公園に変わつて行われた。

一区 柄植 博彰(東海中)
二区 鶴見 晃(△)

委員長 神尾 昌彦(根石小)
副委員長 近藤 博之(葵中)
書記長 大岡 久芳(広幅小)
書記次長 小栗 正貴(北中)
組織部長 増沢 徹(小豆坂小)
教文部長 田中 俊二(矢作北中)
情宣部長 大山 康弘(南中)
福対部長 川口 厚(岩津中)
調査部長 山田 一夫(甲山中)
会計委員 荻野 韶寛(竜海中)
青年部長 杉浦 明(奥殿小)
女性部長 桑木富士子(井田小)

◆市小・中学生作文コンクール
最優秀賞

六名小 五年 加藤 悠祐
六名中 二年 服部 泰斗

◆市小・中学生作文コンクール
優秀賞

六年 木曾原希美
六年 鈴木 悠夏
奈須希久美

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
市議会議長賞

(一時間三六分三九秒)
(一時間三六分三三秒)

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
市長賞

六年 矢作南小
六年 竜美丘小
六年 鈴木 悠夏
奈須希久美

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
六名中 A

二年 服部 泰斗
二年 丸山 和季
○ 1'04"79
○ 2'23"9

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
六名中 B

二年 浜崎たかえ
二年 堀内 哲治
五年 大樹寺小
五年 本宿小
三年 川村 沙織
三年 男川小
六年 小林 理沙
六年 萩中
三年 上原 昭彦
三年 森山 千恵

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
六名中 C

二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)
二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)
二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
六名中 D

二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)
二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
六名中 E

二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)

◆市小・中学校読書感想文・感想画コンクール
六名中 F

二年 沢田 明直(矢作北中)
二年 伊藤 傑(竜海中)
二年 小野田全伸(東海中)

◆平成四年度東海三県学校図書
館奨励賞

藤川小 一年 森山 千恵
藤川小 一年 森山 千恵

◆平成四年度東海三県学校図書
館奨励賞

三島小・新香山中

平成4年度 岡崎市中学校陸上・水泳最高記録			
陸上競技			
性別	種目	氏名	校名
男	1年 100M	本多 克典	東海
	100M	天野 義朋	南
	200M	篠原 克己	矢作北
	400M	伊藤 拓馬	常磐
	800M	牧田 晃叔	竜海
	1年 1500M	林 邦彦	福岡
	2年 1500M	川澄 光俊	葵
	3000M	酒井 義隆	葵
	110MH	杉浦 航	甲山
	高 800MR	天野・天野 乾・杉浦	南
子	低 400MR	川澄・山田 若林・酒井	竜海
	走 高 跳	北浦 武	矢作
	棒 高 跳	渡口 賢隆	南
	走 幅 跳	服部 和彦	竜海
	砲 丸 投	岩祐 友明	南
	三種競技A	北浦 武	矢作
	1年 100M	鈴木 智実	竜海
	100M	菊地美由紀	矢作北 △ 12"3
	200M	高橋 穂波	矢作北 ○ 25"4
	800M	小倉 札子	竜海
女	1500M	小倉 札子	竜海
	100MH	丸林 寛子	竜海
	高 400MR	川口・高橋 大恵・菊地	矢作北 ○ 49"2 (県新記録)
	低 400MR	富金原・上野 山本・西川	矢作
	走 高 跳	魚野 爰子	矢作北
	走 幅 跳	岩月 千佳	城北
	砲 丸 投	岡田 陽子	矢作北
	三種競技A	内田久美子	矢作北 ○ 27"2点
	1年 100M	鈴木 智実	竜海
	100M	菊地美由紀	矢作北 △ 12"3
子	200M	高橋 穂波	矢作北 ○ 25"4
	800M	小倉 札子	竜海
	1500M	小倉 札子	竜海
	100MH	丸林 寛子	竜海
	高 400MR	川口・高橋 大恵・菊地	矢作北 ○ 49"2 (県新記録)
	低 400MR	富金原・上野 山本・西川	矢作
	走 高 跳	魚野 爰子	矢作北
	走 幅 跳	岩月 千佳	城北
	砲 丸 投	岡田 陽子	矢作北
	三種競技A	内田久美子	矢作北 ○ 27"2点

○印 新記録 △印 タイ記録

・表紙写真
・カット

岡崎 小
中

梅 神 藤 田 宏
村 尾 紀 子
美 佐 代

平成不況のあおりを受けてか
マンションの値下がりや、一戸
建て住宅の価格高騰が頭打ちと
なりつつある。しかしながら、
マイホームは依然として高嶺の
花というものが現実である。

ここに紹介した地券は、明治
十一年に交付されたもので、所
有者名、地目、反別、地価が記
載されている。

それまでは年貢米や特産品な
どを小作料として納めていた農
民の生活は、一八七三年（明治
六年）の地租改正条例の地券交
付により、金納（地代）に変わ
つていています。

その後、一八八六年に登記法
が新たに制定された。それによ
り地券の存在理由がなくなり、
三年後には廃止され、現在に至
つている。

白いカブセルがはじけて銀色の
仁丹が飛びはねる。「これが健ち
やんかな」。かすかな漢方薬の香り
の中で粒をつまんでK先生がつぶやく。
「一人の女性の持つ原始卵胞の数は六百
万個、だからこの世に生まれた健ちゃん
は六百万の命の代表選手なんだよ」。命を
どう伝えるか、先生の一言が重い。

愛惜という言葉があるが、まさに今の
教室の中の子供たちを指しているように
思える今日このごろ。「ああ」と、これ
以上ない短い言葉が、一年間かつて築
き上げてきた信頼関係があるが故に通じ
合う。吐く息が白く目立つ教室の
後ろに掲げてある卒業カレンダー
がやせ細り、寂しさを感じる。

教え子から便りが届いた。「……社会
に出て自分にもう少し自信をつけ、教師
になりたい」という心の叫びを自分の中
でもう一度確認することができたら、何
歳であろうと、もう一度教職の道に挑戦
してみるつもりです。教育実習で
自信をなくした彼女であるが、そ
の気概には頭が下がる。

シ
オ

ス
ア

素直に聞く耳を持ちたい。個人
面談の折など、親が「こうしてほ
しい」と何か要望を言つても「そ
れはできません」もう決まつています。
ほど、そういう見方もありますね」と言
えばきっと親もほつとするだろう。い
つでもこう言える心のゆとりを持ちたい。



矢作中郷土資料室蔵

地券



*ことばの表情

大貫 英範

¥1000

*お隣の外国人

吉永みち子

¥1400

*偉大なるアメリカが見えてきた

戸来 勉

¥1500

*美辞麗句を使うべし

吉田 康彦

¥1000

*ニホンザルの心を探る

正高 信男外

¥1200

執筆は、京大靈長類研究所で顔を合わせたという30代の気鋭動物学者5名。

ニホンザルは、世界をどのように見て
いるか。求愛、採食、血縁の認知、毛づ
くろい、会話、自己認知などにおいて、
その行動・心理の奥に潜むニホンザルの
心の世界をうがっていく。そこにヒトの
心の起源となる特徴が重なってくる。

ヒトの心が誕生する過程を解き明かす
ためにニホンザルを調べるという。科学
的論証による論述の仕方が参考になろう。



● 下柏柳

● 柏柳

・常磐田町

・板田

やすらぎ公園
(緑園・斎場)

● やすらぎ公園

板田町

中央クリーンセンター

高隆寺町

中央総合公園(建設中)



五位原北
十七酒
老大平莊

文 男川小学校

県種畜センター

大平市民センター
大平支所

◎ 美川中学校

● 丸山

男川運動広場

乙 川

丸 山 町

小美町

小美觀音前

小美

西美合

東部学校給食センター

文 美合小学校

西美合

東美合

消防署東分署

子ども美術博物館

・岡町

岡崎地域文化広場

(おかざき世界子ども美術博物館)

(・親子造形センターなど)

保母町

東名

高速道路
鉢地

合 美合新町

● 神戸崎

山 綱 川

美合運動広場

◎ 三河高校(私)

東海産業短大(私)

美合公園

市営住宅平地莊

国

尾山